



# 河小だより

四日市市立河原田小学校

第16号 令和3年12月6日

あっという間に12月になり、2学期も残り3週間となりました。コロナウイルスの感染はずいぶん落ち着きを見せておりますが、ここ数日、オミクロン株なる新しい変異種がニュース番組の話題となっています。寒くなってきていますが、今一度、手洗いやうがいの呼びかけ、換気等の感染症対策を確実に行っていきます。ご家庭におかれましても、お子さんやご家族に体調がすぐれない方がみえる場合は、早めに休養を取るなど、ご協力をお願いします。

## ● 修学旅行先で素晴らしい姿がたくさんありました

11月24日(水)25日(木)の2日間、6年生の修学旅行がありました。伊賀市の忍者博物館から始まり、伊勢市のおかげ横丁、志摩市のスペイン村、明和町の齋宮歴史博物館等をめぐる県内の歴史を学ぶことに中心をおいた行程でした。天候にも大変恵まれ、2日間ともおだやかな晴天の中、楽しく、学びの深い2日間となりました。同行した私は、6年生の素晴らしい姿をたくさん見ることができ、大変感激しました。

まずは、38名の6年生が全員参加できたことをとてもうれしく思います。ずいぶん落ち着いてきたとはいえ、このコロナ禍の中、全員が体調を整えて参加し、小学校での最後の大きな行事を全員で成功させたことに何よりうれしさを感じています。次に、学ぶ姿勢がとても素晴らしかったです。伊賀流忍者博物館と齋宮歴史博物館で、講師の方から講義を受け、その後、展示見学を行ったのですが、その際の学ぶ姿勢がとても良かったです。お話の途中でメモを取ったり、見学の時には展示物を熱心に観察したりと、これまで積み重ねてきた学習の姿勢がそのまま表れていました。齋宮歴史博物館の見学はスペイン村の後の行程でしたので、きちんと切り替えられるか実のところ少し心配もしていましたが、全くの杞憂でした。2日目の午後で疲れもあったでしょうが、熱心に見学する姿に頭が下がりました。もう一つ大変感心したことがあります。バスの乗降時や見学地、ホテルなどで、「お願いします」や「ありがとうございます」などの言葉が、自然と出てくる子どもたちが多くいたことです。関わってくれた人たちに感謝の気持ちを持ち、それを言葉にして表現できることは、これから先の生活においてもとても大切な力です。今後も大事にしてほしいと思います。

修学旅行の出発式でのあいさつの中で、「①無事に帰ること」「②気持ちよく帰ること」「③学んで帰ること」、そのためにどうすればよいかを考えて行動してほしいと話をしました。6年生38人は、修学旅行の期間中で、3つともきちんと達成してくれるどころか、私の予想を大きく上回る素晴らしい姿をたくさん見せてくれました。小学校生活は残り約4か月ですが、さらに素晴らしい姿を後輩たちに見せて、そして、残して行ってほしいと願っています。【修学旅行の様子は学校HPに写真を多数掲載しましたので、ご覧ください。】



### 【児童の活躍 紹介】

第67回青少年読書感想文コンクール(三重県審査) 小学校低学年の部

自由図書「わたしのたいせつなメガネ」 優秀一席 2年  三宅  さん

## ● 自然教室も大成功

12月1日(水)、5年生が少年自然の家で自然教室を行いました。例年、1泊2日で行われる自然教室ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、市内の小学校はすべて日帰りで行われることになってしまいました。せっかくの機会が縮小されてしまい残念ですが、そんな思いを吹き飛ばすかのごとく、河原田小学校の5年生43名は、全力で楽しんでくれていました。

活動内容は、午前中は「焼き杉」、午後は「オリエンテーリング」でした。「焼き杉」では、杉板を電動糸ノコで好きな形に切り、バーナーで表面を焼いて、コースターを作りました。思ったように切れない子がいると、周りにいた子がさっと手を差し伸べる姿がありました。「オリエンテーリング」は、雨上がりのふれあいの森をグループごとに散策し、チェックポイントを探しました。地図を見誤り、道に迷ったり、ぬかるんだ坂道で滑ったり、いくつかのピンチがありましたが、みんなで相談したり、声を掛け合ったり、励まし合ったりして、ゴールすることができました。

また、自然の家の職員さんやバスの運転手さんにも、元気にあいさつし、「お願いします」「ありがとうございました」と感謝の気持ちを言葉できちんと伝えることができていました。5年生のみなさんのステキな姿をたくさんに目にするのができた1日でした。4か月先の最上級生に向けて、「ステキ」をさらに磨いていってください。



## ● きょうだい学年による業間遊び

遊びや体育の授業を通して、体を動かすことの楽しさを知り、主体的に運動に取り組めるようになることはとても大切なことです。少し前になります。そのような子どもたちの姿をめざして、11月8日(月)からの1週間を「体力向上週間」と設定しました。取組内容は、20分休みの時間帯にきょうだい学年(1年生と6年生、2年生と4年生、3年生と5年生)の上級生が運動を伴う遊びを計画し、下級生とともに楽しむというものです。普段、休み時間は教室で過ごしている子どもたちも、この1週間は運動場でドッジボールやおにごっこ、体育館では大縄跳びや追いかけっこを行っていました。移動や準備、説明等を含めての20分ですから、あっという間です。それでも、下級生の子どもたちは上級生につかまらないよう全力で逃げまわったり、上級生は上手に加減をしながら楽しく下級生を追いかけたりしていました。短い時間でしたが、子どもたちは汗だくになりながら楽しそうに体を動かしました。異学年での遊びは、体力向上および運動の楽しさを味わうだけでなく、特に上級生には、思いやりや優しさの気持ちを育み、自己有用感(だれかの役に立つ、誰かに感謝される、誰かに認めてもらった時などに感じる、自分を大切にしようとする感情)の高揚にもつながっています。

1学期に行った児童アンケートの「体を動かすことが好きですか」の設問に対して、「好き」「どちらかといえば好き」と答えた本校児童の割合は94.3%でした。これは令和元年度の四日市市の児童の回答(男子71.3%、女子52.0%)を大きく上回っています。これまでの体育の授業や体力向上週間等の取組みの成果と考えています。3学期初めには「8の字チャレンジ」と称し、長縄跳びの取組を行います。励ましの声をかけていただいたり、一緒に練習をしていただいたりするなど、お子さんが運動に主体的に取り組めるよう、ご協力をお願いします。



### お願い

**【交通安全】**先日、四日市南警察署と連携し、リモートでの交通安全教室を行いました。また、三重県交通安全条例が制定されました。条例では、「歩きスマホ等は慎むこと」「自転車の運転者は車両の運転者であることを自覚すること」など、歩行者や自転車運転者の責務も明記されました。お家でも交通安全についてのお話しをお願いします。加えて、「自転車損害賠償責任保険等への加入」も義務化されました。お子さんの自転車保険等の確認をお願いします。詳しくは右側のQRコードを読み取ってください。

**【不審者対応】**河原田小学校区内に限らず、市内の不審者の情報が届くことがあります。その都度、子どもたちには「いかのおすし」(右側のQRコード参照)をもとに指導を行っています。また必要に応じてすぐメールでお知らせしたり、警察へパトロールの要請をしたりしています。万が一、お子さんが怖い思いをした場合は、できる限り早く警察に連絡するようにお願いします。警察官がすぐに現場に駆け付け、不審者への対応ができる場合があります。年末年始は子どもたちもお金を手にする時期でもありますので、特にご注意ください。

